

コレアジン錠 12.5mg

【この薬は？】

販売名	コレアジン錠 12.5mg CHOREAZINE Tablets 12.5mg
一般名	テトラベナジン Tetrabenazine
含有量 (1錠中)	12.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、中枢神経系用薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、ハンチントン病により過剰になった、脳内の神経刺激伝達を抑え、舞踏運動といわれる不随意運動（自分の意志とは無関係に体が動いてしまうこと）を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

ハンチントン病に伴う舞踏運動

- ・この薬の効果はハンチントン病に伴う舞踏運動の改善に限定されており、舞踏運動以外のハンチントン病の症状改善は期待できません。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- うつ病・うつ状態、死にたいと思ったり考えたりする症状があらわれたり悪化したりすることがあります。この薬を使用中に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状の変化があらわれた場合には、患者さんやご家族の方はただちに医師に連絡してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・死にたいと思ったり考えたりすることがある人、不安定なうつ病・うつ状態の人
 - ・肝臓に重篤な障害がある人
 - ・MAO阻害剤を使用中、あるいは使用中後2週間以内の人
 - ・レセルピンを使用中、あるいは使用中後3週間以内の人
 - ・過去にコレアジン錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・うつ病・うつ状態の人または過去に経験したことがある人、死にたいと思ったり考えたりしたことがある人
 - ・QT延長のある人、QT延長を起こしやすい人
 - ・脱水の人や栄養状態の悪い人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・腎臓に重篤な障害のある人
- この薬には併用してはいけない薬 [MAO阻害剤セレギリン (エフピー)、レセルピン (アポプロン)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

1日量	1日1錠から開始し、1日量を1週間毎に1錠ずつ増やしていきます。1日最大量は8錠です。	
飲む回数	1日1錠使用の場合	1日1回
	1日2錠使用の場合	1日2回
	1日3～8錠使用の場合	1日3回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

急性ジストニー（からだか意志に反して動く、手足が意志に反して動く）、眼球回転発作（目が片方による又は上方を向く）、悪心・嘔吐、発汗、鎮静、低血圧、

錯乱、下痢、幻覚（実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる）、発赤（局所が赤くなる）及び振戦（手が震える、足が震える）などがあらわれる可能性があります。このような症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・うつ病・うつ状態、死にたいと思ったり考えたりする症状があらわれたり悪化したり、認知機能が悪化したり、行動の変化（攻撃性、易刺激性など）があらわれたりすることがあります。患者さんやご家族の方はこれらの副作用が起きる危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。また、ご家族の方は患者さんの状態の変化について観察し、以下のような変化がみられた場合には、医師に連絡してください。患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、医師に連絡することに加え、ご家族の方にも伝えるようにしてください。

うつ病・うつ状態：やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠、死にたいという気持ちになる

認知機能の悪化：記憶したり、注意を適切に集中させたり、計画を立てたり、判断したりする能力が低下すること

攻撃性：攻撃的になる

易刺激性：ちょっとした刺激で気持ちの変調を来す

- ・アカシジア（じっとしていることができない、座ったり足踏みしたりせずにはおられない）、パーキンソニズム（動きが鈍い、手足のふるえ、転倒しやすい、筋肉が固くなる）、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師に連絡してください。
- ・月経の異常、月経不順、無月経、男性又は授乳期でない女性の乳汁分泌、性欲減退などがあらわれた場合は、医師に連絡してください。
- ・飲食物が飲み込みにくい症状があらわれた場合は、医師に連絡してください。
- ・頭がボーっとしたり、うとうとしたりすることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないようにしてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。





このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
うつ病・うつ状態 うつびょう・うつじょうたい	やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠
自殺念慮 じさつねんりょ	衝動的に自殺を考える
自殺企図 じさつぎと	自殺を企てる
悪性症候群 (Syndorome malin) あくせいしょうこうぐん (シンドローム マリン)	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する
口や喉	飲み込みにくい
筋肉	筋肉のこわばり
その他	やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠、衝動的に自殺を考える、自殺を企てる

【この薬の形は？】

PTP シート			
形状	錠剤		
	表	裏	側面
			
直径	7.0mm		
厚さ	2.5mm		
重さ	125mg		
色	白色		
識別コード	CL 12・5		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	テトラベナジン
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、タルク、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社： アルフレッサ ファーマ株式会社

(<http://www.alfresa-pharma.co.jp>)

学術情報部 お客様相談室

電話番号：0120-060334

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）